

## 会 議 録（1）

会議の名称	第10回桶川市地域公共交通会議
開催日時	平成30年12月12日（水） （開会）午後4時00分・（閉会）午後5時45分
開催場所	桶川市役所4階 402会議室
主宰者の氏名	桶川市長 小野克典
議長の氏名	桶川市副市長 松本幸司
出席者氏名 （委員）	第1号委員：松本幸司 第2号委員：長南克幸、田沼健一、山科和仁、鈴木貴大 第3号委員：熊谷恵一、佐藤学、高橋弘之 第5号委員：藤田貢 第6号委員：稲元良作、保坂輝雄、新井孝雄、北村文子、 黒河通明、三澤みどり 第7号委員：青木宏之 第8号委員：金子秀和 第9号委員：岡村敏之、畦地英樹、曾田信行
欠席者氏名 （委員）	第2号委員：野口佳一 第4号委員：鶴岡洋 第9号委員：後閑浩幸、野崎高司、川邊恵
事務局職員 職名及び氏名	安心安全課：課長・稲垣裕司、主幹・中野栄司、主事・虻川海 オブザーバー 高齢介護課：係長・柳川恵美、係長・關寿生 県地域包括ケア課：主査・立花幹、主任・甘楽 勝也
会 議 事 項	議 題
	<p>○確認事項</p> <p>（1）前回会議の会議録の確認</p> <p>（2）前回会議の振り返り</p> <p>○報告事項</p> <p>（1）循環バス見直しに係る地域説明会（川田谷薬師堂地区）の意見について</p> <p>（2）見直し運行計画（案）等に関する委員からのご意見について</p> <p>○協議事項</p> <p>（1）市内循環バスの見直し運賃について</p> <p>（2）市内循環バス見直し運行計画（案）について</p> <p>○その他</p> <p>（1）今後のスケジュールについて</p>

	決定事項等	市内循環バス見直し運行計画（案）について、事務局において本日の意見等を反映させて内容を修正する。修正した計画（案）により来年2月ごろにパブリックコメントを実施する。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員名簿・座席表</li> <li>○会議録（第9回地域公共交通会議）</li> <li>○【資料1】前回会議の振り返り</li> <li>○【資料2】循環バス見直しに係る地域説明会（川田谷薬師堂地区）の意見について</li> <li>○【資料3】見直し運行計画（案）等に関する委員からのご意見について</li> <li>○【資料4】市内循環バスの見直し運賃について</li> <li>○【資料5】市内循環バス見直し運行計画（案）について</li> <li>○【資料6】市内循環バス見直し検討スケジュール</li> </ul>	

## 会 議 録 ( 2 )

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>開会宣言</p> <p>1 1月30日付けで委嘱された委員の紹介</p> <p style="text-align: center;">( 全員再任のため、あいさつ無 )</p>
事務局	<p>本日の会議は委員25名の内、20名の出席。 過半数出席のため、要綱に基づき会議は成立となる。</p>
会長	<p>会長あいさつ</p>
議長	<p>会議は原則公開となっているが、本日の会議で非公開とする事項はあるか。</p>
事務局	<p>なし。</p>
議長	<p>本日の会議はすべて公開とする。 本日の傍聴希望者はいるか。</p>
事務局	<p>傍聴希望者は4名。</p> <p style="text-align: center;">～ 傍聴者入場 ～</p>
議長	<p>説明 ※傍聴上の注意 本日の会議の会議録署名人は三澤みどり委員にお願いする。</p>
委員	<p>承諾</p>
議長	<p>議題、【確認事項】(1)及び(2)について</p> <p>(1) 前回会議の会議録の確認</p> <p>(2) 前回会議の振り返り</p>
事務局	<p>説明</p> <p>※会議録 (第9回地域公共交通会議)</p> <p>※【資料1】前回会議の振り返り</p>

	<p>～ 指摘等なし ～</p>
議長	<p>議題、【報告事項】(1) 循環バス見直しに係る地域説明会（川田谷薬師堂地区）の意見について</p>
事務局	<p>説明 ※【資料2】循環バス見直しに係る地域説明会（川田谷薬師堂地区）の意見について</p>
	<p>～ 指摘等なし ～</p>
議長	<p>議題、【報告事項】(2) 見直し運行計画（案）等に関する委員からのご意見について</p>
事務局	<p>説明 ※【資料3】見直し運行計画（案）等に関する委員からのご意見について</p>
	<p>～ 指摘等なし ～</p>
議長	<p>議題、【協議事項】(1) 市内循環バス見直し運賃について</p>
事務局	<p>説明 ※【資料4】市内循環バスの見直し運賃について</p>
委員	<p>今の説明は分かり易かった。  運賃は埼玉運輸支局を通して決定するが、運賃ではない利用券となると市の施策として発行できることも理解した。  循環バスの事業は市の安心安全課がやっているが、利用券を市の独自の施策としてやる際は、高齢者施策の主管課が中心となってやるイメージなのか。</p>
事務局	<p>利用券は高齢者の外出促進が目的であるが、市の高齢介護課だけでは実施は難しい。  安心安全課と連携して運行開始までに制度設計を考えていきたい。  将来的には、高齢介護課が主体となり、市の高齢者施策として市民にもわかりやすい形で取り組んでいきたい。  実質的には運賃割引のような効果があるので、本会議や市議会にもこまめに説明してまいりたい。</p>
委員	<p>利用対象者かどうかを健康保険証で確認することは大変である。</p>

	<p>タクシー運賃に障害者1割引の制度を導入した時、最初は障害者手帳を開いて確認をし、本人確認の報告書を会社に添付できて初めて割引が適用されていた。</p> <p>導入から2年後、利用者から障害者手帳を開いて確認することに苦情があり、手帳を提示した時点で割引することになった。</p> <p>会社としては、名前と番号等を確認するだけであったが、利用者からするとプライバシーの問題にまで繋がった。</p> <p>つい最近にも、乗務員が障害者手帳の提示がないと割引ができないと言ったことで、利用者と口論になったこともある。</p> <p>そのような事態が発生する可能性もあり、タクシーだけでなくバスの運転手も健康保険証をいちいち確認することは大変である。</p>
事務局	<p>後期高齢者医療被保険者証を提示して割引かれた金額を支払うやり方は、いろいろな仕組みが考えられる中で支払い方法のイメージとして説明させていただいた。</p> <p>市としては、市内在住の高齢者が、どの交通手段でも街中に出ていきやすい仕組みを目指す中で、できるだけ事業者にも迷惑をかけない形が望ましいと考えている。</p> <p>利用券などを発行するやり方だと、市が利用券を作成して配布、また、利用後は、事業者が利用券を収集し、清算する必要がある、その一連の作業等が手間となりコストがかかるといった課題が想定される。</p> <p>できるだけコストをかけたくないという行政側の考えもあり、前回の会議では、利用者が1年間のパスを提示し、乗務員がそれを確認して利用していたところで、コストを削減するためにパスを後期高齢者医療被保険者証に切り替えたという事例も紹介した。どのような仕組みが良いかとなると、なかなか制度設計が難しいが、事業者とよく調整をさせていただいて、より良い制度を構築していきたい。</p> <p>説明したイメージの中からいずれかを選ぶということではなく、仕組みについていろいろご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>先ほどの委員からの発言はその通りである。</p> <p>現在、北本市、鴻巣市でデマンド交通を導入しているが、タクシー事業者が一つ一つ確認することが非常に多くなってきている。</p> <p>利用者にとってわかりやすいということは非常に重要ではあるが、事業者にとっても負担があまりかからない方法を検討していただきたい。</p> <p>補足であるが、タクシーに導入している障害者割引の割引分はタクシー事業者が負担していることもご理解いただきたい。</p>
委員	<p>前回会議から事務局にはいろいろとご配慮してもらいたい。</p>

	<p>この内容でパブリックコメントにかけることは問題ないと思っている。</p> <p>前回から定期券、回数券など運賃の部分でいろいろ議論しているが、一度、市民に意見を聞くということで、資料にあるとおり『高齢者、免許返納者などに配慮して何らかの割引制度を行う』という表現の案で良いのではないか。</p> <p>しかし、割引制度をどのような形にするかということについては議論の余地がまだあり、意見がある人は積極的に発言していただきたいが、今回の会議で結論を出す必要はないと思う。</p> <p>市民だけでなく、事業者にとってもわかりやすい制度にしてもらうことが良いと思う。</p> <p>個人の意見としては、ICではなく前近代的ではあるが、記名式の利用券を用いた運賃助成制度が良いのではないかなと思う。</p> <p>また、申請して利用券を配布するということであったと思うが、逆に高齢者の利用促進を考えた場合には、後期高齢者医療被保険者証と一緒に全員に2,000円分の利用券を配布し、それでも足りない方は申請していただくという方法も検討して良いのではないかな。</p> <p>あるいは、循環バスや路線バスは100円の割引で、タクシーについては利用上限を決めて例えば300円まではタクシーで使えるとしたほうが良いと思うが、そのあたりは事務局に考えていただきたい。</p>
事務局	<p>市としても財政的に制約があるため青天井というわけにはいかない。</p> <p>タクシー利用に制度を導入する場合、ある程度の上限というものは設け、初乗り730円に対して300～400円分の利用券を提示してもらうのが妥当なのではないかと考えている。</p> <p>どれだけの予算措置ができるかにもよるが、桶川市内の75歳以上の高齢者約1万人のうち、全員がタクシーを利用するわけではないと思うが、何らかの上限を決めて公平に使っていただけるような仕組みにしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>そもそも運賃というのはバスもタクシーも運送コストと運送収入のバランスで決めるものであり、未来永劫変わらないとまではいかないものの、そうそう変わるものではない。</p> <p>高齢者や障害者、妊産婦の方への様々な割引制度は、公共交通とは一歩離れたところで、福祉的な政策として考えていったほうが整理しやすいのではないかなと思う。</p> <p>また、先ほどの障害者手帳の名前確認についても、良かれと思って設定した制度が苦情の元になってしまう。不正を避けるためにも本人確認</p>

<p>委員</p>	<p>はしなくてならないが、こうした支払い手順もきっちり整理して導入したほうがよいと思う。</p> <p>先ほどのタクシー券3枚、若しくは300円分を限度とする提案は、月に1回だけであればまだ理解はできるが、その程度のタクシー券を渡しても、高齢者の外出支援ということにはならないように思える。</p> <p>75歳以上は100円と設定した方がまだわかりやすいのではないか。ただ、あまり安くしすぎると民間バスやタクシーの利用が減ってしまうというのであれば、それは別途考えなくてはいけないのではないか。</p> <p>予算的にも結構な高額になってしまうので有効とは言えない。金額の考え方も現実的に考えたほうが良い。</p>
<p>事務局</p>	<p>金額については、前々回の会議では運賃を200円にした場合の収支などを検討し、今後利用が減り、費用が上がったとしても、約1,000万円程度の経費圧縮は見込めるのではないかという試算をお示しした。</p> <p>その経費圧縮分を全て高齢者政策や福祉政策としての割引制度に充当してしまうような、過度なサービスの提供はできない。</p> <p>予算の範囲内で一人当たりどれくらいの利用券等を配れるのかという検討も必要であるが、実際には割引制度以外のサービスを望む高齢者の方々もいるのではないか。</p> <p>そのような人たちには違った形の福祉政策を考えていく必要がある。基本的には経費を圧縮できた範囲でそれらのサービスを提供していくことになると思うが、何をどこまでやるかは今後も検討していかなくてはならない。</p> <p>行田市や鴻巣市ではデマンド交通を高齢者向けに実施しているが、当初予算を上回って経費がかかっている状況である。そのことを踏まえると制度設計もある程度シビアに考えていかなくてはならない。</p> <p>今ここで試算という形での回答はできないが、桶川市の財政も潤沢ではないため、高齢者向けの政策にどれくらいの税金を投入できるかは考えながらやっつけていかなくてはならないと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>桶川市では以前、高齢者にマッサージ券を配っていたが、その転売が発生し、何年かで廃止されてしまった。そのような前例があることも考えておかななくてはならない。</p> <p>また、先ほどの1,000万円で1万人だと、1人1,000円である。</p> <p>制度を使わない人を考慮したとしても、1人1,000円というのは10回分程度の割引であり、その程度だと高齢者の外出支援には繋がらない。</p>

委員	<p>また、運賃を100円にしたらくさんの利用があるが、利用券を10回使ったら終わり、それ以上は利用がされないのでは、需要と供給のバランスも考えていかななくてはならないのではないか。</p> <p>そう考えると75歳以上を100円にしてしまったほうが利用は多くなるのではないか。</p> <p>利用促進を考えているのであれば、それにつながる制度なのかを細かく精査していかななくてはならない。</p> <p>パブリックコメントを想定してという事で言えば、先ほど委員からあった意見は、助成制度については運賃とは別のところで議論すべきというメッセージだと理解している。</p> <p>資料4中の助成制度の提案で、すべての公共交通への導入というのは大変聞こえが良く、予算措置がきちんできれば問題のない良い提案ではあるが、現段階の運行計画(案)には、財政的な裏付けや一人当たりの上限のイメージの記載がない。</p> <p>例えば、75歳以上は4月1日から3月31日の1年間、100円とするようなイメージもない中ではパブリックコメントを行うのは難しい。</p> <p>助成制度については、もう少しイメージを出していただく必要がある。</p> <p>例えば、循環バスも路線バスもタクシーも同時に割引制度を始めるような表現になっている。</p> <p>しかし予算の話聞いて、いざパブリックコメントを行った後に「予算がありません」という事態になった場合のことを考えるととても怖い。</p> <p>そうであれば、パブリックコメントの中では厳しい意見が出てくるとは思うが、まずは循環バスのみを対象とした資料4中の助成制度のようなことを検討し、予算を考えながら、少し時間を開けてから他の交通手段にも適用可能な形で制度を作ることを会議で検討していくくらいでないと耐えられないのではないか。</p>
議長	<p>この会議の中で高齢者向けの制度案として、いくつか割引の規模感が示されているので、パブリックコメントにかける際には、可能な範囲でそうした具体的なイメージが伝わるように示した方がよいと思う。</p>
委員	<p>そもそも論になってしまうが、割引については別のテーブルで話したほうが良いのではないかとすることは賛成である。</p> <p>今日の会議資料(資料5)の中にパブリックコメントとして出す内容のものが提示されている。その中では今後検討する事項として、「具体的な料金の設定や利用促進」、「公共交通の利用助成の具体的な設定」とある。</p>

	<p>助成制度は今後検討すると示してパブリックコメントにかける考えなのであれば、助成内容はパブリックコメントの前提条件ではないため、後日、別のテーブルで話をしたほうが良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>資料4と資料5の運賃の説明のところで、書き方が違うのでどちらで議論をしていくのか。</p>
議長	<p>資料5に話が及んだので、【協議事項】(2)も併せて議論することとする。</p> <p>議題、【協議事項】(2)市内循環バス見直し運行計画(案)について</p>
事務局	<p>説明 ※【資料5】市内循環バス見直し運行計画(案)</p> <p>委員から指摘があった通り、見直し運行をスタートする段階では、まず循環バスについて助成制度を導入していくように書き換えさせていただきたい。ゆくゆくは他の公共交通に広げていくような書き方ができれば良いと考えている。</p> <p>なお、免許返納者については昨年のベースで65歳以上は約250人である。その方々が公共交通を使いやすいようにしていきたいという考えの中で、循環バス以外の公共交通も視野に入れている。免許返納制度はあくまで交通安全の取組みであるため、福祉政策の助成と同様、運賃の枠組みの外での検討になると思うが、何らかの助成制度を考えていきたい。</p>
議長	<p>前回会議後に各委員からいただいた意見を反映して資料5を作り込んだであると思うが、さらに意見等はあるか。</p>
委員	<p>パブリックコメントで一番困るのは内容が曖昧であることである。何を言っているのかわからないし、解釈によって右にも左にもずれるようなものは適していない。</p> <p>きちんと主語述語を入れてもらわないと、どのように解釈したら良いかわからないこともある。</p> <p>資料5、P6に3.助成とあるが、何の助成なのかわからないのでもう少しわかりやすく記載していただきたい。</p>
委員	<p>資料5、P7の「(3)今後検討する事項」について、これでパブリックコメントを行った時に読み手からすると長期にわたって検討するものなのか、見直し運行に向けて引き続いて検討するものなのか、時間的な感覚がわかりづらい。</p>

<p>委員</p>	<p>標記としては「今後引き続き検討する事項」とした方が、読み手としては、引き続き検討する意思があると思ってくれるのではないか。</p> <p>(3) ③のカッコ内にあるデマンド交通等という言葉を使うなら、注釈をいれてはどうか。</p> <p>資料5、(3)の②、④は、まだこの会議では議論しきれていないが見直し運行では実施を検討していくことで、①、③はこれを機会に中期的に検討したいことであると思われるので段落を分けるべきである。</p> <p>デマンド交通等というのは、近隣の自治体でもやっていることなので表現として問題はないと思うが、本来であればデマンド交通というのはいろいろな方法があるため、デマンド交通を検討するというより、バスでは対応できないあらゆる手段を模索するとした方がより前向きである。</p>
<p>委員</p>	<p>標題中の「見直し」という言葉はあまりよくないのではないか。見直しとなると現在が間違いであるように受け取られてしまうので、再編成と表記した方がよいのではないか。</p> <p>しかし、今まで見直しという表記で議論をしていたので、それで行くというのであればそのままでも良いと思う。</p> <p>資料5、P2の(1)利用者の減少と運行経費について、この資料だけをみると循環バスの利用者数が年々減少してきているように感じてしまう。また、一人当たりの負担が300円あるいは、530円とあるが、他の市町村の状況が全然わからない。</p> <p>他の市町村に比べたら桶川市の循環バスの成績はとても良い。少し減ってはいるが利用は多いという現状を市民の方に知ってもらう必要があると思う。</p> <p>資料5、P20の別添2で各年の利用状況を比較した記載はあるが、他の市町村との比較も参考として載せても良いのではないか。</p> <p>桶川市の循環バスの利用は平成25年から減ってきているが、人口も減ってきているため、可能であれば桶川市の人口推移も比較できるように明示しても良いのではないか。</p> <p>資料5、P5、P6の運行日と運行時間帯の中で、※印で「平日と休日の運行方法については、今後、利用状況から変更等を検討」とあるが、これは平日と休日のダイヤ等を検討するということであると思っている。</p> <p>先程、デマンド交通の注釈の意見があったと思うが、個人的にはデマンド交通という言葉は削除していただきたい。デマンド交通は最近ブームのような感じになってきているが、桶川市の公共交通の現状はそれだけを考えるようなものではない。</p>

委員	<p>一人当たりの運行経費の記載があるが、市全体の経費も載せたほうが良いのではないか。</p> <p>運行ルート案だけ別図でついているが、パブリックコメントの資料で市民が見るとなると現行のルートも載せたほうが良い。</p>
議長	<p>薬師堂で説明会を行った時に将来を心配する意見もあった。</p> <p>試験運行から本格運行に移行した後も利用状況や地域のニーズを把握し、更なる改善を検討する旨を書けるのであれば、そのことも記載した方が良い。</p> <p>高齢者助成に関して、この会議の場で議論は重ねてきているが、100円を念頭に置いた説明もあった中で、単に今後検討と書くだけでなく、100円なら100円での利用を念頭において検討するといったことまで書けるなら資料に記載したほうが良い。</p> <p>循環バスの位置づけは路線バスだけの補完ではなく、タクシーを含めた他の公共交通を補完するものであることから、資料5、P1の記載の中にはっきり示した方が良い。</p>
委員	<p>資料5、P3の市内循環バスの見直しの方針の中で、「見直しに当たっては路線バスとの均衡を考慮しつつ、運行サービスに見合った料金設定を行う。」とあるが、「料金」ではなく「運賃」である。</p> <p>また、「要配慮者（高齢者等）の料金設定も必要に応じ検討する」も運賃設定ということではなく助成という方向で議論が進んでいるため、修正が必要である。</p>
議長	<p>議題、【その他】（1）今後のスケジュールについて</p>
事務局	<p>説明 ※【資料6】市内循環バス見直し検討スケジュール</p> <p>今回も見直し運行計画（案）に関して、多くの指摘を頂いた。</p> <p>予定通り来年2月ごろにパブリックコメントを実施すると考えると、それまでに再度会議を開くのは難しい。事務局でいただいた意見を反映させて運行計画（案）を修正し、今月中にパブリックコメント案をとりまとめることとさせていただきたい。</p> <p>1月初めにそれを皆様にメールや郵送でお送りさせていただく。</p>
議長	<p>事務局において、各委員の意見をしっかりと反映したパブリックコメントの最終版といえる資料にとりまとめて、それを1月初めに報告という形で各委員に配布させていただくということによろしいか。</p> <p>その時に万が一、再修正の意見がある場合は、意見を受け付けて、校正は議長と事務局に一任いただくということによろしいか。</p>

委員	異議なし
議長	事務局において、スケジュールどおり資料の取りまとめ、配布を行うこと。
事務局	閉会宣言

平成31年 1月21日

会議録署名人 三 澤 み どり